

第9回 武庫川流域圏ネットワーク 活動報告会

- 日 時 : 2019年11月30日(土) 13時~17時 (参加無料)
- 会 場 : 神戸女学院大学 ホルブルック館 301号教室 (阪急門戸厄神駅、20分)
- 申 込 : mukogawaken.net@gmail.com Tel/Fax : 0798-31-1544 (山本) 当日参加も可

プログラム

13:00	主催者の挨拶 : 山本義和 (武庫川流域圏ネットワーク代表)	
特別講演	司会 : 小川嘉憲 (武庫川流域圏ネットワーク副代表)	
13:05	これからの自然災害にどう向き合うか~西日本豪雨災害の教訓から~ 越智秀二 (広島県自主防災アドバイザー、国土問題研究会理事)	裏面 : 特別講演の紹介
口頭発表	1部	司会 : 山本義和
14:20	1. 宝塚市の環境政策の取り組み	石井泰一 (宝塚市環境政策課)
14:40	2. 宝塚中学校科学部のあゆみ	宝塚中学校科学部
15:00	3. 若者の環境保全意識の強化~兵庫県の事例を用いて~ (関西学院大経済学部 栗田研究会 Moribito 班)	金光崇志・福田大和・川戸若葉・ 高見奨磨・染谷凜太郎
15:20	展示発表者の自己紹介、展示物の見学 (30分程度)	
	2部	司会 : 古武家善成 (武庫川流域圏ネットワーク)
15:50	4. 武庫川下流域の河川整備の現状と課題	○小川嘉憲・白川政昭 (21世紀の武庫川を考える会)
16:10	5. 六甲トンネル工事による環境汚染から1年 ~津門川の自然再生に向けての取り組み (中間報告)	○山本義和・白神理平・菅澤邦明・小林 登 (武庫川流域圏ネットワーク・ 津門川の自然を守る会)
16:30	閉会の挨拶 : 上田 宏 (武庫川流域圏ネットワーク副代表)	

(進行 : 白神理平 タイムキーパー : 吉田博昭)

展示発表

出展者・テーマ	
1. 法西 浩	「2019年武庫川流域で観たカメさんたち」
2. 浜・川・山の自然たんけん隊	「生まれ変わった御前浜と西宮浜」
3. 仁川学院中学校アカデミア・特進IIコース	「武庫川水域の調査」
4. 西宮市役所みどり保全課	「生物多様性の取り組み」(検討中)
5. 篠山環境みらいの会	「篠山環境みらいの会の活動報告」
6. 武庫川づくりと流域連携を進める会	「景観」と「川の中の環環」
7. 宝塚市環境政策課	「宝塚市の環境政策の取り組み」
8. 宝塚中学校科学部	「ピタゴラスイッチ」と「壁新聞」
9. 関西学院大経済学部 栗田研究会	「Moribito 班」 (講演と同じ)
10. 21世紀の武庫川を考える会	(講演と同じ)
11. 武庫川流域圏ネットワーク・津門川の自然を守る会	(講演と同じ)
12. (株)ヤマサ環境	「地域環境活動・海洋プラスチック問題について」



当日の連絡先 : 090-7878-4307 (山本) 090-1718-2029 (白神)

- ひょうご環境創造協会・コープこうべ環境基金 助成事業 環境学習都市にしのみや・パートナーシッププログラム ■
- 協力 : 環境都市宝塚推進市民会議・神戸女学院大学 ■

第9回 武庫川流域圏ネットワーク「活動報告会」特別講演

2019年11月30日(土)13時～ 神戸女学院大学ホルブルック館

これからの自然災害に どう向き合うか

～西日本豪雨災害の教訓から～



広島市馬木地区土石流現場

大雨、猛暑、連続する台風、竜巻・突風と、昨今の異常気象は、明らかに地球温暖化の影響でしょう。昨年7月初旬の西日本豪雨災害は14府県に及び、死者と安否不明者で229名、住まいと産業・暮らしに甚大な被害をもたらしました。さらに、今年も台風15号と19号で東日本は多大な災害を被りました。「これまで大丈夫だった」「この地域は心配ない」はもう通用しないことを痛感しています。これまでの豪雨災害の教訓を活かして対策を進めましょう。**防災は意識より知識です。**

この度、2014年から広島豪雨災害を現地で調査研究をされ、防災アドバイザーとして活躍しておられる**越智秀二氏**をお迎えして第9回武庫川流域圏ネットワークの「活動報告会」の特別講演を行います。氏は、自然災害の原因について、自然的な問題にしてしまうのではなく、人為的（技術的、社会・経済的）問題から追求して対策を立てるべきだと主張されています。特に河川対策や砂防対策の遅れ、過疎地域の行政放置や過密地域の無理な土地開発に警鐘を鳴らしておられます。

講師

広島県自主防災アドバイザー

越智秀二氏

越智秀二氏プロフィール

1953年愛媛県生まれ、広島大学大学院卒業（日本地質学会会員、国土問題研究会理事）
広島市内の私立中高校で地学の教員（現在非常勤講師）吹奏楽部と天文地学部の顧問。

現在は、防災士の資格を取り、広島県自主防災アドバイザーとして、豪雨災害の被災地で、ボランティアセンターでの助言や災害現場の調査、防災マップ作りなどを精力的に行い、また各地で防災講演なども行っておられます。